

高知市総合計画 後期基本計画の総括

本市では、平成 23 年に「2011 高知市総合計画」を策定し、「森・里・海と人の環 自由と共生都市 高知」を将来像に掲げ、その実現に向けて総合的かつ計画的にまちづくりを進めてきました。

昨今の社会情勢や市民生活の変化は目まぐるしく、これからの行政には、社会の変化に合わせた臨機応変で機動的な対応が求められることから、これまでよりも短期間で政策を捉え、住民にもわかりやすい高知市の未来を描くため、新たな総合計画を策定します。

策定に先立ち、現行の後期基本計画の成果と課題を整理し、新たな計画の基礎資料とするための総括を実施します。

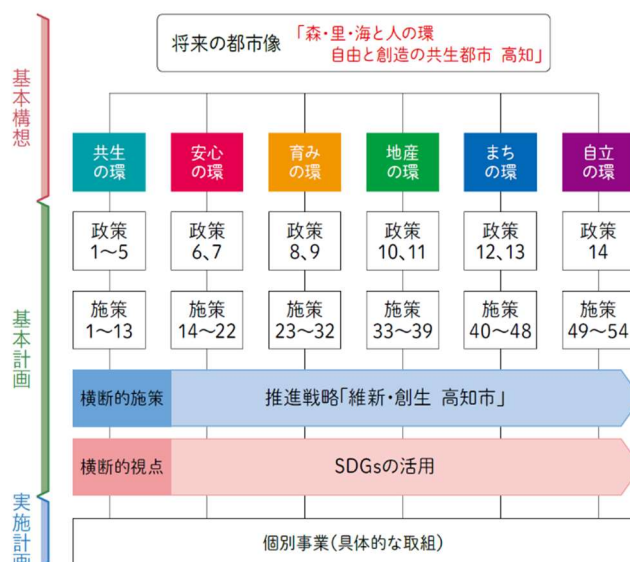
1 総合計画の構造

総合計画では、基本構想で都市発展に向けた基本的な方向性を明らかにし、目指す将来像を掲げ、それを実現していくための施策の大綱を定めています。

さらに、基本計画で、基本構想を実現するための施策と重点的な取組を定め、実施計画では、基本計画に基づき具体的な個別事業（事務事業）を定めています。



基本構想に定められた6つの大綱（6つの環）に基づく、それぞれの分野別の「政策（基本目標）」及び「施策」を定めています。



2 政策・施策及び事務事業の評価方法

総合計画は、「政策・施策評価」及び「事務事業評価」によって進行管理をしています。

「政策・施策評価」

政策及び連動する施策について、施策に設定した成果指標の達成状況や事業実績を評価し、市民意識調査結果や外部委員等の意見も踏まえて、客観的な検証を行います。

各施策には、各政策・各施策を評価するための成果指標を設定しています。

「事務事業評価」

政策・施策に基づく具体的な事務事業について、目標達成度や目的妥当性、有効性、効率性、公平性などの視点から評価し、外部委員等の意見も踏まえて、客観的な検証を行います。

各事務事業には、事業の目標達成の度合いや成果を客観的に測るための評価指標を設定しています。

後期基本計画では、施策の成果指標について、中間目標値として令和7年度の目標値を、最終目標値として令和12年度の目標値を設定しているため、現時点では成果指標の達成度を確認することができません。そのため、実施計画に登載した事務事業のうち、令和6年度及び令和7年度に事務事業評価を実施した事業に設定している評価指標の達成度を施策ごとに確認することで、後期基本計画の総括を行います。

3 第2次実施計画 事務事業の評価結果

1 評価結果

(1) 指標の達成状況

後期基本計画に基づき策定した第2次実施計画に登載されている543の事務事業には、事業の評価を実施するため、1事業につき1～3の評価指標が設定されています。

第2次実施計画の事務事業評価は、令和6年度から令和8年度の3年間をかけてすべての事業を1回ずつ評価することとしています。今回、指標の達成状況を確認するのは令和8年度に評価実施予定の事業を除くものです。令和6年度及び令和7年度の評価対象事業数は319、設定された指標数は611であり、そのうち指標を達成したものは394、全体の64.5%となっています。

<指標の達成状況> (※再掲の事業はカウントしない)

令和6年度及び令和7年度 評価対象指標数	達成	未達成	達成率
611	394	217	64.5%

全指標数	令和6年度 評価対象指標数	令和7年度 評価対象指標数	令和8年度 評価対象指標数
1,056	247	364	445
(543事業)	(135事業)	(181事業)	(227事業)

(2) 事務事業評価結果

■第2次実施計画の登載事業のうち令和6年度の評価結果（令和5年度実施事業）

- ・ A 評価… 116 事業
- ・ B 評価… 18 事業
- ・ C 評価… 4 事業
- ・ D 評価… 0 事業
- ・ (a) … 0 事業
- ・ (d) … 0 事業

A…事業継続
 B…改善を検討し事業継続
 C…事業縮小・再構築の検討
 D…事業廃止・凍結の検討
 (a)…事業の完了
 (d)…事業の廃止

<C 評価（4 事業）に該当する事業一覧>

大綱	施策	事務事業
共生の環	地域の絆を強める地域コミュニティの活性化	まちづくり支援事業
育みの環	学びが広がる生涯学習の推進	人材バンク事業
地産の環	いきいきと働ける環境づくり	就職氷河期世代支援事業
地産の環	地場企業の強みを活かした産業の振興	れんけいこうち地場産品販路拡大推進事業

■第2次実施計画の登載事業のうち令和7年度の評価結果（令和6年度実施事業）

- ・ A 評価… 134 事業
- ・ B 評価… 34 事業
- ・ C 評価… 7 事業
- ・ D 評価… 0 事業
- ・ (a) … 4 事業
- ・ (d) … 0 事業

<C 評価（7 事業）に該当する事業一覧>

大綱	施策	事務事業
共生の環	地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）	地域防災活動担い手支援事業補助
安心の環	生きがいづくりと介護予防の推進	なごやか宅老事業
安心の環	高齢者の地域生活支援	住宅改造助成事業
育みの環	多様で魅力的な芸術・文化活動の推進	博物館機能の充実と郷土まんが家顕彰事業
育みの環	多様で魅力的な芸術・文化活動の推進	まんが文化による地域活性化事業
地産の環	大地の恵みを活かした農業の振興	耕作放棄地産地化推進事業補助
まちの環	魅力あふれる都市美・水と緑の整備	生きものにやさしい川づくり事業

4 市民が感じる施策の重要性、施策に対する満足度の変化

高知市では、無作為抽出した 18 歳以上(※)の市民 3,000 人を対象に、毎年、「市民意識調査」(アンケート調査)を実施し、施策に対する意識を確認しています。この調査では、隔年で、重要と感じる施策及び施策に対する満足度の度合いを調査しています。(※)令和 3 年度以前は 20 歳以上

施策の重要性・満足度に関する調査について、後期基本計画開始前の令和 2 年度と直近の令和 6 年度の調査結果の比較を行いました。

50 施策(54 施策から、再掲されている 4 施策を除いたもの)に対する重要性・満足度の変化を、以下の①～④に分類しました。

①～④のうち、「④重要性は上昇または現状維持、満足度は下降」に分類された施策が、今後、最も施策の充実や改善を図る必要性が高いと判断されます。

		施策の充実・改善の必要性
①重要性と満足度ともに上昇または現状維持	15 施策	<div>小</div> <div>↓</div> <div>大</div>
②重要性は下降、満足度は上昇または現状維持	1 施策	
③重要性と満足度ともに下降	8 施策	
④重要性は上昇または現状維持、満足度は下降	26 施策	

回答数に得点を乗じて合計したものを、回答者数により除した値を指数としている。

満足度の指数化

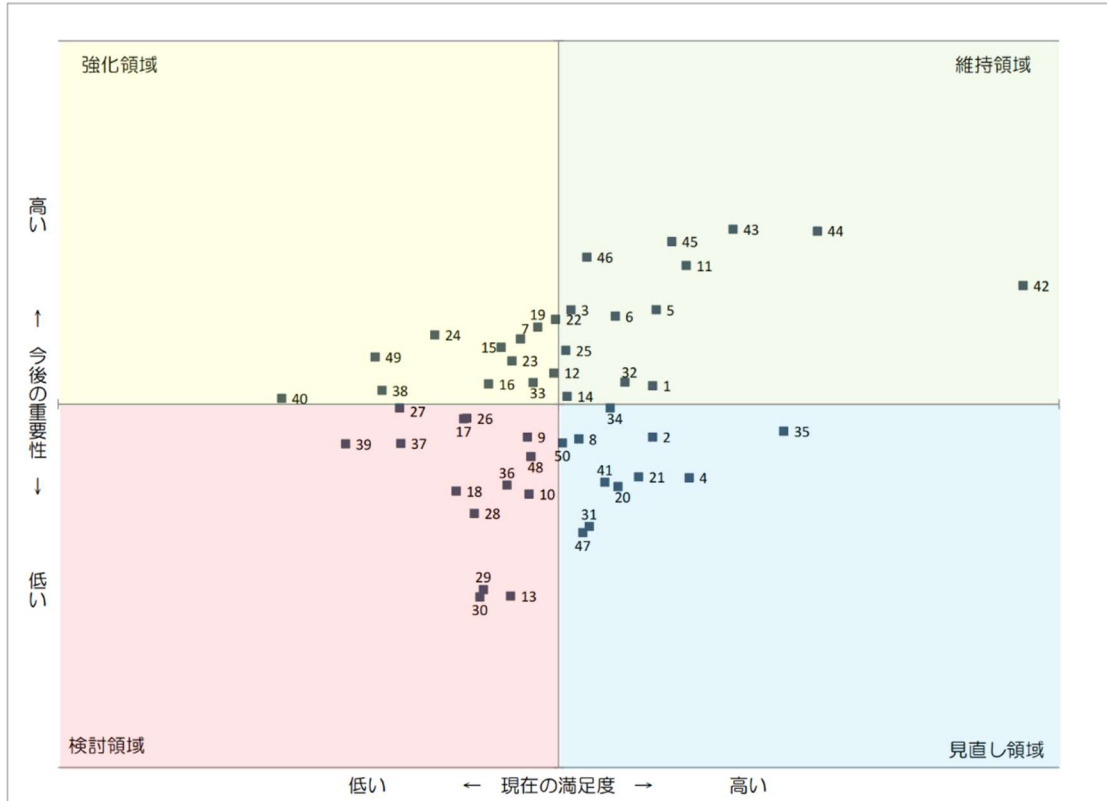
「満足」	: +8 点
「どちらかといえば満足」	: +6 点
「どちらともいえない」	: +4 点
「どちらかといえば不満」	: +2 点
「不満」	: +0 点

重要性の指数化

「重要性が高い」	: +8 点
「どちらかといえば重要性が高い」	: +6 点
「どちらともいえない」	: +4 点
「どちらかといえば重要性が低い」	: +2 点
「重要性が低い」	: +0 点

＜④に該当する施策＞

大綱	政策	施策
共生の環	3 環境負荷を低減し、新エネルギーを活用した地球にやさしいまち	5 資源循環型都市の構築
	5 多様な主体が連携し、市民と行政が協働するまち	11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）
安心の環	6 住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるまち	14 生きがいづくりと介護予防の推進
		15 高齢者の地域生活支援
		16 障がいのある人への支援
	7 健康で安心して暮らせるまち	20 地域医療体制と健康管理機器体制の確立 22 生涯を通じた心身の健康づくり支援
育みの環	8 子どもの安心・成長・自立を支えるまち	23 子ども・子育て支援の充実
		25 生きる力を育む学校教育の充実
		26 安全で安心な教育環境の整備
		27 青少年の健全な心と体の育成
	9 いきいきと学び楽しみ、活躍できるまち	29 学びが広がる生涯学習の推進
地産の環	10 地域の豊かな資源を活かし、活力ある産業が発展するまち	33 大地の恵みを活かした農業の振興
		34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興
		35 地場産業の強みを活かした産業の振興
	11 にぎわいが創出され、いきいきと働けるまち	37 魅力あふれる商業の振興
		38 新たな事業の創出と企業誘致
		39 いきいきと働ける環境づくり
まちの環	12 便利で快適に暮らせるまち	40 地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成
		41 安全で円滑な交通体系の整備
		43 安全で安定した水道水の供給
	13 災害に強く、安全に暮らせるまち	44 命を守る対策の推進
		46 消防・救急・医療体制の強化
		47 災害からの迅速な復旧
		48 復旧・復興体制の強化
自立の環	14 多様な交流や、新たな人の流れが生まれ、自立したまち	54 持続可能な公共施設の提供



以下は、施策を領域ごとに施策番号順に配置

【強化領域】

- 7 低炭素社会の推進
- 12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進
- 15 高齢者の地域生活支援
- 16 障がいのある人への支援
- 19 地域医療体制と健康危機管理体制の確立
- 22 子ども・子育て支援の充実
- 23 心と体の健やかな成長への支援
- 24 生きる力を育む学校教育の充実
- 33 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興
- 38 いきいきと働ける環境づくり
- 40 安全で円滑な交通体系の整備
- 49 市民から信頼される行政改革・財政の健全化

【維持領域】

- 1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全
- 3 地球にやさしい環境汚染の防止
- 5 環型社会の形成の推進
- 6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減
- 11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）
- 14 生きがいづくりと介護予防の推進
- 25 安全で安心な教育環境の整備
- 32 大地の恵みを活かした農業の振興
- 42 安全で安定した水道水の供給
- 43 命を守る対策の推進
- 44 消防・救急・医療体制の強化
- 45 災害からの迅速な復旧
- 46 復旧・復興体制の強化

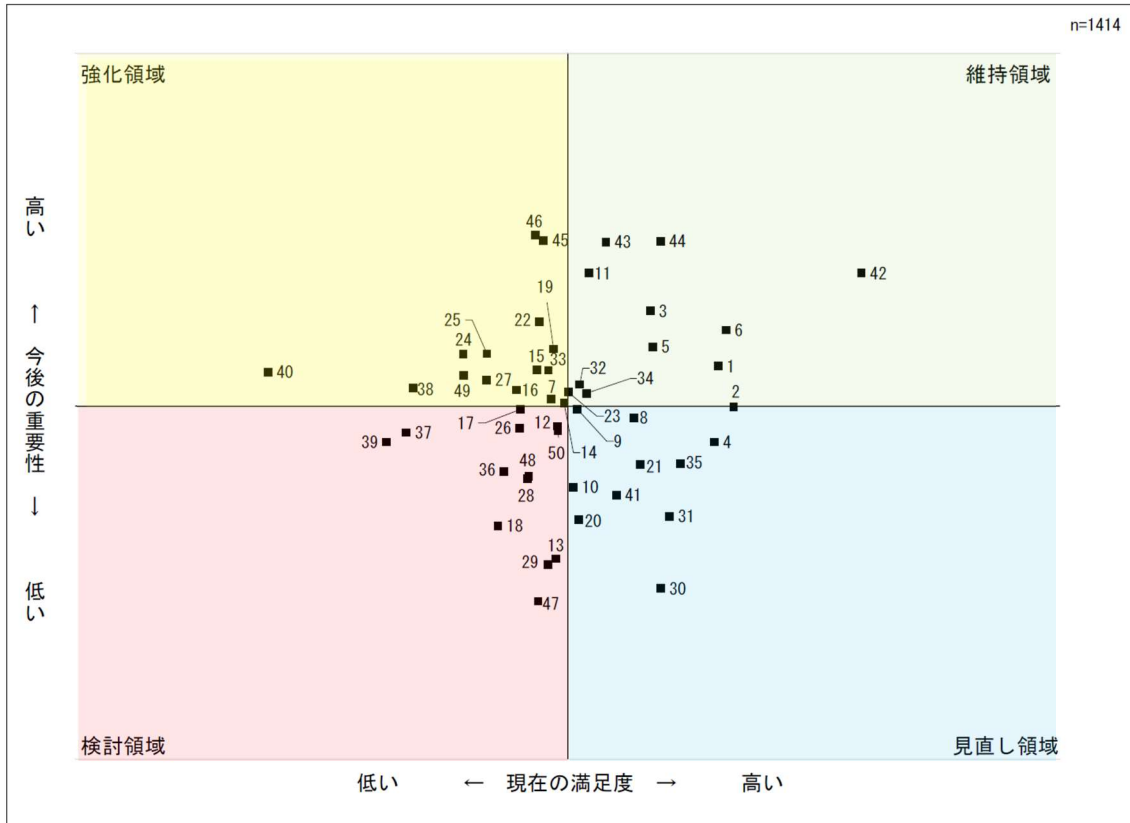
【検討領域】

- 9 男女が共に活躍できる社会づくり
- 10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化
- 13 NPO・ボランティア活動の推進
- 17 障がいのある人の社会参加の促進
- 18 生活困窮者の自立支援
- 26 青少年の健全な心と体の育成
- 27 高等学校教育の充実
- 28 学びが広がる生涯学習の推進
- 29 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進
- 30 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進
- 36 魅力あふれる商業の振興
- 37 新たな事業の創出と企業誘致
- 39 地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成
- 48 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進

【見直し領域】

- 2 豊かな自然とのふれあい
- 4 地域文化の継承と発展
- 8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり
- 20 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進
- 21 生涯を通じた心身の健康づくり支援
- 31 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進
- 34 地場企業の強みを活かした産業の振興
- 35 観光魅力創造・まごころ観光の推進
- 41 魅力あふれる都市美・水と緑の整備
- 47 多様な交流・連携の推進
- 50 持続可能な公共施設の提供

＜令和6年市民意識調査 施策の重要性・満足度調査結果＞



以下は、施策を領域ごとに施策番号順に配置

【強化領域】

- 7 低炭素社会の推進
- 14 生きがいづくりと介護予防の推進
- 15 高齢者の地域生活支援
- 16 障がいのある人への支援
- 19 地域医療体制と健康危機管理体制の確立
- 22 子ども・子育て支援の充実
- 24 生きる力を育む学校教育の充実
- 25 安全で安心な教育環境の整備
- 27 高等学校教育の充実
- 33 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興
- 38 いきいきと働ける環境づくり
- 40 安全で円滑な交通体系の整備
- 45 災害からの迅速な復旧
- 46 復旧・復興体制の強化
- 49 市民から信頼される行政改革・財政の健全化

【検討領域】

- 12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進
- 13 NPO・ボランティア活動の推進
- 17 障がいのある人の社会参加の促進
- 18 生活困窮者の自立支援
- 26 青少年の健全な心と体の育成
- 28 学びが広がる生涯学習の推進
- 29 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進
- 36 魅力あふれる商業の振興
- 37 新たな事業の創出と企業誘致
- 39 地域特性を活かした、バランスの取れた都市の形成
- 47 多様な交流・連携の推進
- 48 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進
- 50 持続可能な公共施設の提供

【維持領域】

- 1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全
- 3 地球にやさしい環境汚染の防止
- 5 環型社会の形成の推進
- 6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減
- 11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）
- 23 心と体の健やかな成長への支援
- 32 大地の恵みを活かした農業の振興
- 34 地場企業の強みを活かした産業の振興
- 42 安全で安定した水道水の供給
- 43 命を守る対策の推進
- 44 消防・救急・医療体制の強化

【見直し領域】

- 2 豊かな自然とのふれあい
- 4 地域文化の継承と発展
- 8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり
- 9 男女が共に活躍できる社会づくり
- 10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化
- 20 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進
- 21 生涯を通じた心身の健康づくり支援
- 30 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進
- 31 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進
- 35 観光魅力創造・まごころ観光の推進
- 41 魅力あふれる都市美・水と緑の整備

5 大綱（6つの環）別の事務事業評価及び市民意識調査結果

1 共生の環

（１）分野の概要と政策・施策名

鏡川を軸として自然の保全と理解を深めるとともに、資源循環型社会の構築、地球環境問題への取組を強化する。あわせて、地域文化の振興や防災、減災対策を推進し、自由民権運動以来の自由と平等の精神や市民協働の精神を活かし、平和と人権を尊重し地域福祉が充実した、自然と人とまちが調和する地域社会を創造する。

（主な取組分野：自然環境、低炭素、生活環境、人権、地域文化、市民との協働、資源環境）

大綱	政策	施策
共生の環	1 豊かな自然に親しみ、自然と共生するまち	1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全
		2 豊かな自然とのふれあい
		3 地球にやさしい環境汚染の防止
	2 地域文化に愛着を持ち、継承されるまち	4 地域文化の継承と発展
	3 環境負荷を低減し、新エネルギーを活用した地球にやさしいまち	5 資源循環型都市の構築
		6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減
		7 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進
	4 平和と人権が尊重され、男女が共に輝けるまち	8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり
		9 男女が共に活躍できる社会づくり
	5 多様な主体が連携し、市民と行政が協働するまち	10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化
		11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）
		12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進
		13 NPO・ボランティア活動の推進

（２）計画期間中の主な取組

- 下知ポンプ場の耐震・対津波化し南海トラフ地震時においても排水機能保持
- エコパーク宇賀整備事業の実施
- 鏡川流域の自然や地域資源を活用した多様な市民等の交流機会の創出
- SOGI 推進で多様な性のあり方に関する啓発と理解の促進
- 集落活動センター（梅の木、仁ノ万葉の里）の整備
- 地域共生社会の実現に向けた取組（ほおつよけん相談窓口の設置、包括的相談支援員配置、複合化・複雑化した課題を抱える世帯への支援について多機関多職種で検討する体制づくり）
- 町内会活動活性化事業の推進
- 地域内連携協議会の設立・推進
- マンホールトイレの整備推進

(3) 事業の評価指標から見る成果

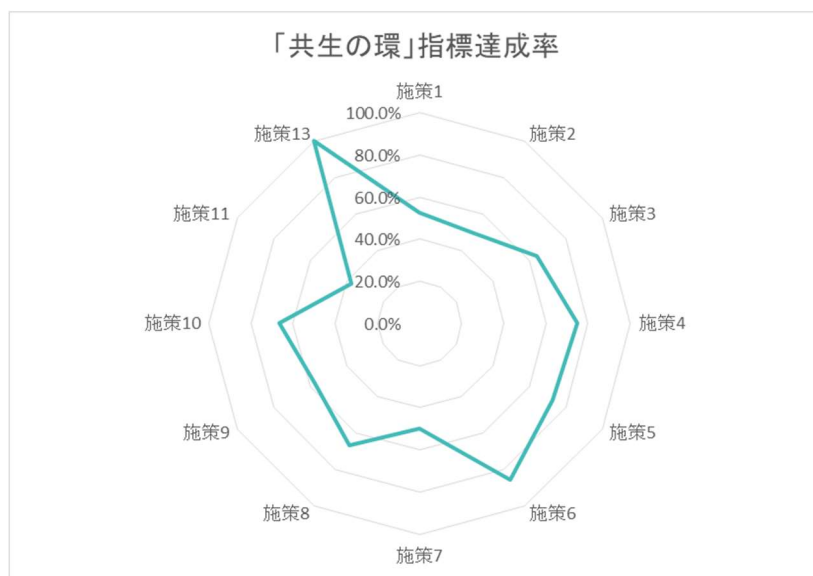
○共生の環に紐づく事務事業数：118

○事務事業に設定された評価指標数：208

上記のうち、令和6・7年度に評価実施済の指標：127、

令和8年度に評価実施予定の指標：81

施策	指標達成状況		合計	達成率
	達成	未達成		
1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全	10	9	19	52.6%
2 豊かな自然とのふれあい	6	6	12	50.0%
3 地球にやさしい環境汚染の防止	9	5	14	64.3%
4 地域文化の継承と発展	6	2	8	75.0%
5 資源循環型都市の構築	8	3	11	72.7%
6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減	12	2	14	85.7%
7 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進	3	3	6	50.0%
8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり	6	3	9	66.7%
9 男女が共に活躍できる社会づくり	4	3	7	57.1%
10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化	6	3	9	66.7%
11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）	6	10	16	37.5%
12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進	0	0	0	-
13 NPO・ボランティア活動の推進	2	0	2	100.0%



(4) 市民の実感の変化から見る成果（市民意識調査結果）

○令和２年度と比較し令和６年度の数値が 上昇または現状維持した施策：「↑」「→」
下降した施策：「↓」

大綱	施策	重要性			満足度		
		R2	R6	変化	R2	R6	変化
共生の環	1 豊かな自然を育む緑と水辺の保全	6.15	6.41	↑	4.70	4.89	↑
	2 豊かな自然とのふれあい	5.89	6.17	↑	4.70	4.94	↑
	3 地球にやさしい環境汚染の防止	6.53	6.74	↑	4.50	4.66	↑
	4 地域文化の継承と発展	5.69	5.97	↑	4.79	4.87	↑
	5 資源循環型都市の構築	6.53	6.53	→	4.71	4.67	↓
	6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減	6.50	6.63	↑	4.61	4.91	↑
	7 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進	6.38	6.22	↓	4.37	4.33	↓
	8 平和理念の普及と人権尊重の社会づくり	5.88	6.11	↑	4.52	4.61	↑
	9 男女が共に活躍できる社会づくり	5.89	6.16	↑	4.39	4.42	↑
	10 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化	5.61	5.70	↑	4.39	4.41	↑
	11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）	6.75	6.96	↑	4.78	4.46	↓
	12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進	6.21	6.06	↓	4.46	4.35	↓
	13 NPO・ボランティア活動の推進	5.10	5.28	↑	4.35	4.35	→

○重要性・満足度の変化を、以下の①～④に分類

① 重要性・満足度ともに上昇または現状維持	9 施策
② 重要性は下降、満足度は上昇または現状維持	0 施策
③ 重要性と満足度ともに下降	2 施策
④ 重要性は上昇または現状維持、満足度は下降	2 施策

○重要性・満足度がそれぞれ最も上昇したもの、最も下降したもの

重要性	最も上昇	施策 2 豊かな自然とのふれあい	0.28 ポイント上昇
	最も下降	施策 7 環境にやさしい地球温暖化防止対策の推進	0.16 ポイント下降
満足度	最も上昇	施策 6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減	0.3 ポイント上昇
	最も下降	施策 11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）	0.32 ポイント下降

(5) 「共生の環」の総括と次期計画に向けて

【成果と強み】

- 豊かな自然を守るための保全・再生・維持管理、環境を守る意識の醸成、廃棄物の適正処理による環境負荷の低減等、また、平和理念や人権尊重についての教育や啓発、地域や社会で活躍できる人材の育成や地域住民の支え合いの仕組みづくりの推進、男女共同参画の取組を継続的に実施してきた。
- 「共生の環」は全体として市民の施策に対する満足度が上昇傾向にある。
- 評価指標の達成率が2番目に高かった「施策6 廃棄物の適正処理による環境負荷の低減」については満足度が最も上昇した。

【課題】

- 大規模災害時、避難者の緊急避難場所から避難所への速やかな移動、復旧までの安全・安心な生活の確保に取り組むとともに、自主防災組織等への活動支援などを通じて、自助・共助による防災活動を推進してきたが、「施策11 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）」は、「共生の環」の中で評価指標の達成率が最も低く、市民の満足度が最も下降した。
- 「施策12 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進」についても市民の満足度が低下している。
- 人口減少により地域活動の担い手が減少し、地域のつながりの維持に対して、市民が不安を感じているのではないかな。

【次期計画での対応の方向性】

環境保護や、人権尊重、男女の活躍等についての市民の意識醸成など、持続可能な社会の基礎づくりは継続して今後も実施する必要がある。

また、人口減少により、これまで通りの地域活動を維持することが困難になる中で、日常的にも、災害時等の非常時にも住民同士の支え合いは非常に重要性を増す。地域での課題解決力を強化するとともに、相談体制や交流の機会の創出といった行政の支援を拡充し、引き続き地域共生社会の実現を目指す。

2 安心の環

(1) 分野の概要と政策・施策名

全国に先駆けて取り組んできた「いきいき百歳体操」などの成果を活かして市民の健康づくりを支援し、高齢者や障がいのある人が生きがいを持って社会参加できる環境づくりを進める。

また、家庭や地域での人とのつながりを基本に、医療環境や生活衛生の向上、社会保障の充実に取り組むことで、地域社会全体での支え合いの体制を充実させる。

(主な取組分野：高齢者福祉、障がい福祉、地域福祉・生活困窮者支援、保健・衛生)

大綱	政策	施策
安心の環	6 住み慣れた地域で、自分らしく暮らせるまち	14 生きがいづくりと介護予防の推進
		15 高齢者の地域生活支援
		16 障がいのある人への支援
		17 障がいのある人の社会参加の促進
		18 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進(再掲)
		19 生活困窮者の自立支援
	7 健康で安心して暮らせるまち	20 地域医療体制と健康危機管理体制の確立
		21 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進
		22 生涯を通じた心身の健康づくり支援

(2) 計画期間中の主な取組

- 高齢者の生活支援（介護保険事業、施設・居住系等サービスの整備）
- 障がいのある人への支援（障害福祉サービスの実施、更生医療）
- 生活困窮者の自立支援
- 老人福祉センターの再整備
- 新型コロナワクチン接種の推進
- 高知市食肉衛生検査所の高知県食肉センターへの移転、検査機器の更新

(3) 事業の評価指標から見る成果

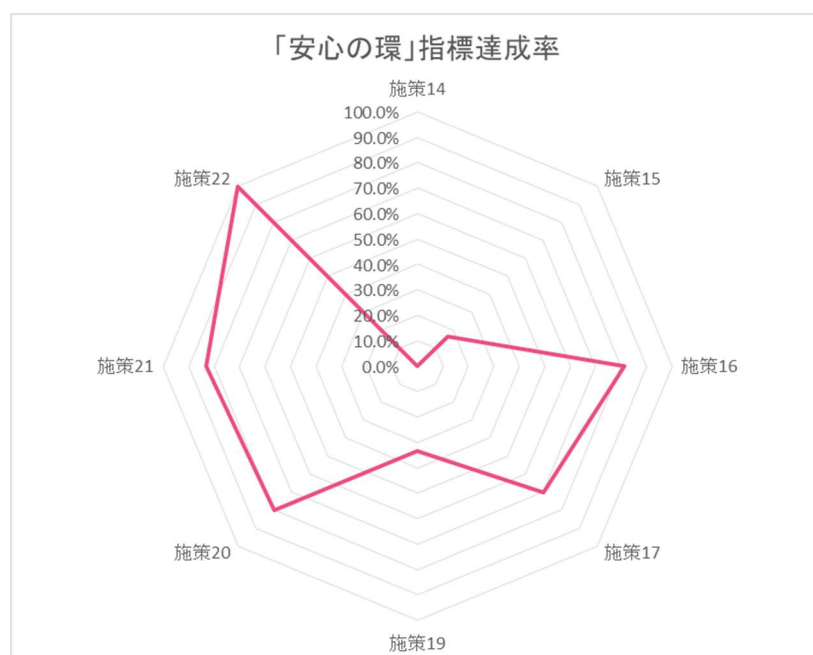
○安心の環に紐づく事務事業数：86

○事務事業に設定された評価指標数：159

上記のうち、令和6・7年度に評価実施済の指標：70、

令和8年度に評価実施予定の指標：89

施策	指標達成状況		合計	達成率
	達成	未達成		
14 生きがいづくりと介護予防の推進	0	6	6	0.0%
15 高齢者の地域生活支援	1	5	6	16.7%
16 障がいのある人への支援	13	3	16	81.3%
17 障がいのある人の社会参加の促進	7	3	10	70.0%
18 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進（再掲）	0	0	0	-
19 生活困窮者の自立支援	2	4	6	33.3%
20 地域医療体制と健康危機管理体制の確立	8	2	10	80.0%
21 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進	10	2	12	83.3%
22 生涯を通じた心身の健康づくり支援	4	0	4	100.0%



(4) 市民の実感の変化から見る成果（市民意識調査結果）

○令和２年度と比較し令和６年度の数値が 上昇または現状維持した施策：「↑」「→」
下降した施策：「↓」

大綱	施策	重要性			満足度		
		R2	R6	変化	R2	R6	変化
安心の環	14 生きがいづくりと介護予防の推進	6.10	6.20	↑	4.49	4.38	↓
	15 高齢者の地域生活支援	6.34	6.39	↑	4.33	4.29	↓
	16 障がいのある人への支援	6.16	6.27	↑	4.29	4.22	↓
	17 障がいのある人の社会参加の促進	5.98	6.16	↑	4.23	4.23	→
	18 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進（再掲）	6.21	6.06	↓	4.46	4.35	↓
	19 生活困窮者の自立支援	5.62	5.47	↓	4.22	4.16	↓
	20 地域医療体制と健康危機管理体制の確立	6.44	6.52	↑	4.42	4.34	↓
	21 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進	5.65	5.51	↓	4.61	4.42	↓
	22 生涯を通じた心身の健康づくり支援	5.69	5.84	↑	4.66	4.63	↓

○重要性・満足度の変化を、以下の①～④に分類

① 重要性・満足度ともに上昇または現状維持	1 施策
② 重要性は下降、満足度は上昇または現状維持	0 施策
③ 重要性と満足度ともに下降	3 施策
④ 重要性は上昇または現状維持、満足度は下降	5 施策

○重要性・満足度がそれぞれ最も上昇したもの、最も下降したもの

重要性	最も上昇	施策 17 障がいのある人の社会参加の促進	0.18 ポイント上昇
	最も下降	施策 18 地域住民の支え合いによる地域福祉の推進（再掲） 施策 19 生活困窮者の自立支援	0.15 ポイント下降
満足度	最も上昇	なし	なし
	最も下降	施策 21 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進	0.19 ポイント下降

(5) 「安心の環」の総括と次期計画に向けて

【成果と強み】

- すべての市民が健康的に安心して生活できる基盤を構築するため、高齢者のいきがいづくりや健康づくりの促進、障がいのある人が自立した生活が送れるような生活支援や就労支援、生活困窮者の自立支援、食品安全、食育、疾病の早期発見・予防、医療施設への支援、公衆衛生、国民健康保険の運営などに取り組んできた。

【課題】

- 「施策 21 衛生的な生活環境づくりと動物愛護の推進」では、評価指標の達成率は高水準だが、市民の満足度は「安心の環」の施策の中で最も下降した。
- 「安心の環」に属する施策は、福祉、医療、保健衛生といった市民の生活に不可欠な基盤であり、これまでの取組を停滞することなく継続してきた一方で、社会情勢の変化に応じた新規性のある取組や工夫が不足しているのではないか。
- 市民の重要性の認識が高まる分野であるからこそ、既存の行政サービスのみでは充足感が得られにくい状況にあるのではないか。

【次期計画での対応の方向性】

市民が真に必要としている福祉的ニーズを再検証し、行き届いていない部分はないかを見極めながら今後の施策を考えていく必要がある。また、少子高齢化の進行に伴って若い世代への負担が偏らないよう、持続可能な福祉の支援体制を構築していく必要がある。

3 育みの環

(1) 分野の概要と政策・施策名

少子化への対応や世代間交流の促進を通じて、地域全体で子どもを見守り、安心して生み育てられる環境づくりを進めるとともに、食育を含む知・徳・体の調和の取れた教育を充実させる。

また、よさこい祭りやまんが文化に象徴される自由と創造の精神を育み、生涯にわたって誰もが自主的に学習やスポーツ、文化・歴史に親しみ、いきいきと向上し続けられる環境を推進する。

(主な取組分野：子育て、教育、生涯学習・スポーツ、文化・歴史)

大綱	政策	施策
育みの環	8 子どもの安心・成長・自立を支えるまち	23 子ども・子育て支援の充実
		24 心と体の健やかな成長への支援
		25 生きる力を育む学校教育の充実
		26 安全で安心な教育環境の整備
		27 青少年の健全な心と体の育成
		28 高等学校教育の充実
	9 いきいきと学び楽しみ、活躍できるまち	29 学びが広がる生涯学習の推進
		30 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進
		31 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進
		32 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進

(2) 計画期間中の主な取組

- 地域子育て支援センター整備
- 子育て世代包括支援センター整備
- 多胎家庭に育児サポーター派遣（育児・家事の介助、相談支援）
- 育児家庭の孤立化、産後うつや児童虐待予防のための産後ケア事業
- 不妊治療への助成
- 将来保育需要の算出・検証
- GIGA スクール構想の実現（教員の ICT 活用能力向上、機器の有効活用に向けたサポーター配置・マニュアル作成・コールセンターによる教育活動支援）
- 不登校対策として校内サポートルームを設置
- 市立学校の施設整備に係る予算を大幅に増額
- 高知特別支援学校の体育館に空調を整備
- 高知文化プラザのリニューアル
- 子ども医療費助成の拡充
- 中学進学時祝い金支給事業の創設
- 子育て支援企業認定促進事業の創設
- ラブアクト推進事業における新たな取組の開始
- プロスポーツにぎわい創出事業の創設

(3) 事業の評価指標から見る成果

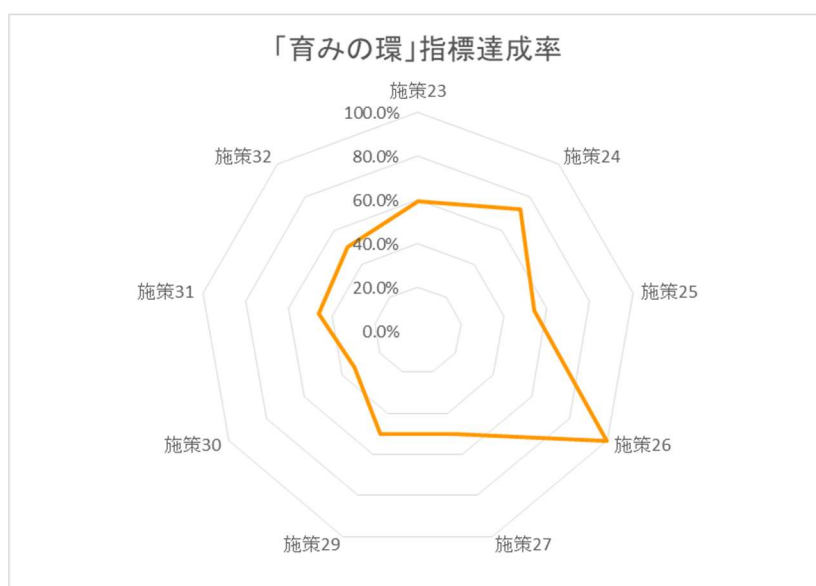
○育みの環に紐づく事務事業数：124

○事務事業に設定された評価指標数：218

上記のうち、令和6・7年度に評価実施済の指標：141、

令和8年度に評価実施予定の指標：77

施策	指標達成状況		合計	達成率
	達成	未達成		
23 子ども・子育て支援の充実	22	15	37	59.5%
24 心と体の健やかな成長への支援	19	7	26	73.1%
25 生きる力を育む学校教育の充実	19	16	35	54.3%
26 安全で安心な教育環境の整備	7	0	7	100.0%
27 青少年の健全な心と体の育成	3	3	6	50.0%
28 高等学校教育の充実	0	0	0	-
29 学びが広がる生涯学習の推進	5	5	10	50.0%
30 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進	1	2	3	33.3%
31 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進	6	7	13	46.2%
32 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進	2	2	4	50.0%



(4) 市民の実感の変化から見る成果（市民意識調査結果）

○令和２年度と比較し令和６年度の数値が 上昇または現状維持した施策：「↑」「→」
下降した施策：「↓」

大綱	施策	重要性			満足度		
		R2	R6	変化	R2	R6	変化
育みの環	23 子ども・子育て支援の充実	6.48	6.68	↑	4.46	4.29	↓
	24 心と体の健やかな成長への支援	6.27	6.26	↓	4.35	4.39	↑
	25 生きる力を育む学校教育の充実	6.40	6.48	↑	4.16	4.04	↓
	26 安全で安心な教育環境の整備	6.32	6.49	↑	4.48	4.12	↓
	27 青少年の健全な心と体の育成	5.99	6.05	↑	4.24	4.23	↓
	28 高等学校教育の充実	6.04	6.33	↑	4.08	4.12	↑
	29 学びが広がる生涯学習の推進	5.51	5.75	↑	4.26	4.25	↓
	30 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進	5.13	5.24	↑	4.28	4.32	↑
	31 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進	5.10	5.10	→	4.27	4.70	↑
	32 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進	5.45	5.53	↑	4.54	4.72	↑

○重要性・満足度の変化を、以下の①～④に分類

① 重要性・満足度ともに上昇または現状維持	4 施策
② 重要性は下降、満足度は上昇または現状維持	1 施策
③ 重要性と満足度ともに下降	0 施策
④ 重要性は上昇または現状維持、満足度は下降	5 施策

○重要性・満足度がそれぞれ最も上昇したもの、最も下降したもの

重要性	最も上昇	施策 28 高等学校教育の充実	0.29 ポイント上昇
	最も下降	施策 24 心と体の健やかな成長への支援	0.01 ポイント下降
満足度	最も上昇	施策 31 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進	0.43 ポイント上昇
	最も下降	施策 26 安全で安心な教育環境の整備	0.36 ポイント下降

(5) 「育みの環」の総括と次期計画に向けて

【成果と強み】

- 子ども医療費助成の拡充や中学進学時祝い金支給事業の創設といった、子どもや若い世代に対する新たな支援に重点的に取り組んだ。
- 芸術や文化活動への支援を行ってきた「施策 31 多様で魅力的な芸術・文化活動の推進」は全施策の中で最も市民の満足度が上昇し、また、「施策 32 先人から受け継いだ歴史文化・文化財保護の推進」も上昇幅が全施策の中で 5 番目となった。

【課題】

- 「施策 26 安全で安心な教育環境の整備」では、学校施設の防災機能強化や長寿命化といったハード整備に加え、外部人材の活用や法務相談の委託など組織の充実を図ってきたが、市民の満足度の下降幅は全施策中ワースト 4 位となっている。
- ICT 化や多様な学習支援をはじめとした現代の教育のニーズに対して、さらなる充実が求められているのではないかな。

【次期計画での対応の方向性】

これからの人口減少の時代には、子育てや教育など、子どもや若い世代に関連する施策に対する市民の重要性の認識が高まっている。今後も、子どもや若い世代を中心とした施策を検討すると同時に、人生の大事なライフステージを迎えるどの世代の人にとっても暮らしやすい環境や支援を整備することが、本市への定住意向を向上させ、人口の流出を防ぐ人口減少対策につながる。

満足度の高い文化・芸術施策を発展させ、生涯学習やスポーツを含めて、生涯を通してできる活動の機会を拡大し、心の豊かさや生活の質の向上につなげるとともに、地域への愛着を生む。

4 地産の環

(1) 分野の概要と政策・施策名

森・里・海の豊かな自然環境で育まれた安全で新鮮な食材を活かす農林漁業や、県域経済の中心としての商工業を振興し、地方の中核都市として、広域的な活力ある産業活動を実現する。

また、坂本龍馬やよさこい祭り、街路市や食文化など、高知ならではの資源を最大限に活かした観光のまちづくりを目指すとともに、雇用の創出や就業環境の充実を図り、県域全体の発展に貢献する。

(主な取組分野：産業、商業、観光、雇用)

大綱	政策	施策
地産の環	10 地域の豊かな資源を活かし、活力ある産業が発展するまち	33 大地の恵みを活かした農業の振興
		34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興
		35 地場企業の強みを活かした産業の振興
	11 にぎわいが創出され、いきいきと働けるまち	36 観光魅力創造・まごころ観光の推進
		37 魅力あふれる商業の振興
		38 新たな事業の創出と企業誘致
		39 いきいきと働ける環境づくり

(2) 計画期間中の主な取組

- 新たな産業団地の整備
- 桂浜公園のリノベーション
- 国民宿舎桂浜荘の利活用に向けて P a r k - P F I による事業者を決定（協定締結）
- 地場産品の販売支援・商品力向上（県外観光客をターゲットとした展示・販売の機会確保）
- 連続テレビ小説をきっかけとした観光地づくり（博覧会協議会の周遊プロモーションとの連携、練馬区イベントへの出展など）
- 奨学金返還支援制度の創設
- 資格取得支援事業費補助金の新設
- インターンシップ促進事業費の新設
- シティプロモーション事業の創設
- 地域おこし協力隊として中小企業支援コーディネーターの配置

(3) 事業の評価指標から見る成果

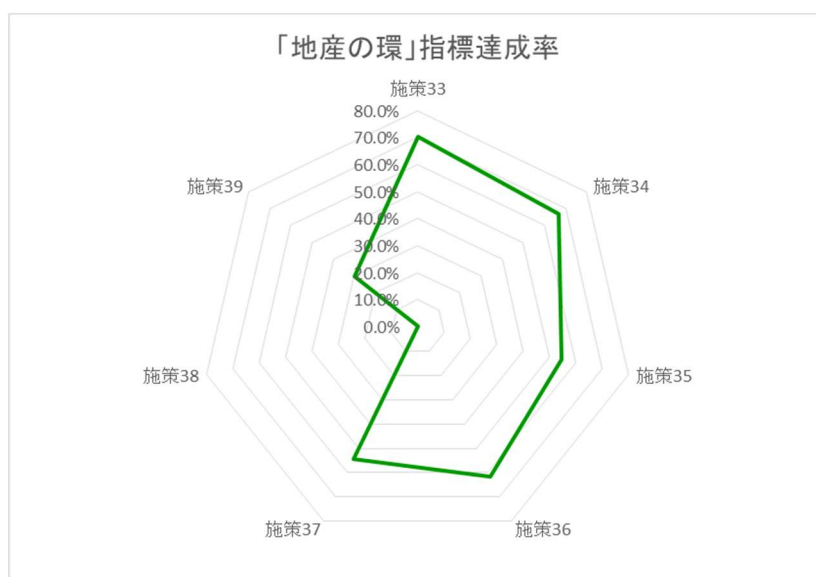
○地産の環に紐づく事務事業数：100

○事務事業に設定された評価指標数：161

上記のうち、令和6・7年度に評価実施済の指標：103、

令和8年度に評価実施予定の指標：58

施策	指標達成状況		合計	達成率
	達成	未達成		
33 大地の恵みを活かした農業の振興	33	14	47	70.2%
34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興	6	3	9	66.7%
35 地場企業の強みを活かした産業の振興	6	5	11	54.5%
36 観光魅力創造・まごころ観光の推進	8	5	13	61.5%
37 魅力あふれる商業の振興	6	5	11	54.5%
38 新たな事業の創出と企業誘致	0	2	2	0.0%
39 いきいきと働ける環境づくり	3	7	10	30.0%



(4) 市民の実感の変化から見る成果（市民意識調査結果）

○令和2年度と比較し令和6年度の数値が 上昇または現状維持した施策：「↑」「→」
下降した施策：「↓」

大綱	施策	重要性			満足度		
		R2	R6	変化	R2	R6	変化
地産の環	33 大地の恵みを活かした農業の振興	6.17	6.31	↑	4.63	4.43	↓
	34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興	6.16	6.39	↑	4.40	4.32	↓
	35 地場企業の強みを活かした産業の振興	6.04	6.25	↑	4.59	4.45	↓
	36 観光魅力創造・まごころ観光の推進	5.92	5.84	↓	5.02	4.76	↓
	37 魅力あふれる商業の振興	5.65	5.79	↑	4.34	4.18	↓
	38 新たな事業の創出と企業誘致	5.86	6.02	↑	4.08	3.85	↓
	39 いきいきと働ける環境づくり	6.13	6.29	↑	4.03	3.87	↓

○重要性・満足度の変化を、以下の①～④に分類

① 重要性・満足度ともに上昇または現状維持	0 施策
② 重要性は下降、満足度は上昇または現状維持	0 施策
③ 重要性と満足度ともに下降	1 施策
④ 重要性は上昇または現状維持、満足度は下降	6 施策

○重要性・満足度がそれぞれ最も上昇したもの、最も下降したもの

重要性	最も上昇	施策 34 山・川・海の恵みを活かした林業・漁業の振興	0.23 ポイント上昇
	最も下降	施策 36 観光魅力創造・まごころ観光の推進	0.08 ポイント下降
満足度	最も上昇	なし	なし
	最も下降	施策 36 観光魅力創造・まごころ観光の推進	0.26 ポイント下降

(5)「地産の環」の総括と次期計画に向けて

【成果と強み】

- よさこいなどの地域資源を生かした地域の魅力創出や、新たなコンテンツの創出といった観光施策を進めた「施策 36 観光魅力創造・まごころ観光の推進」は、全施策の中で第 3 位の満足度であり、満足度の数値自体は下降しているものの、他の施策と比較すれば高い水準であり、本市の主要な取組である。

【課題】

- 「地産の環」全体として施策に対する市民の満足度が全体として下降傾向にある。
- 産業（特に一次産業）の従事者の高齢化が進み、市民が日常生活の中で、産業の衰退や担い手不足を身近な脅威として実感しやすい環境にあるのではないか。
- 産業は地域の独自性を表すものでもあるため、事業の存続が地域そのものの存続への不安に結びついている可能性がある。

【次期計画での対応の方向性】

地域産業の発展に対して市民の重要性の認識が増している。

地域産業が発展し、地域経済が活性化することが、まちの発展に直結する。担い手の確保・育成に向けた支援や販路拡大など、地元企業や事業者の事業が次世代へ永続的に継承される仕組みづくりを推進し、市民が地域の発展を実感できる施策の展開が必要である。

5 まちの環

(1) 分野の概要と政策・施策名

中山間地域から都市部まで各地域の特性を活かし、自然環境と住環境が調和した美しく快適なまちづくりを進める。

高知城や日曜市といった歴史的・文化的な特色を軸に、市街地中心部の都市機能を充実させて風格と魅力あるまちを目指すとともに、公共交通の利便性向上や災害に強い都市基盤の整備を推進し、誰もが安全で心豊かに生活できるような環境を整える。

(主な取組分野：都市基盤、都市環境、防災・減災、復旧・復興)

大綱	政策	施策
まちの環	12 便利で快適に暮らせるまち	40 地域特性を活かし、バランスの取れた都市の形成
		41 安全で円滑な交通体系の整備
		42 魅力あふれる都市美・水と緑の整備
		43 安全で安定した水道水の供給
	13 災害に強く、安全に暮らせるまち	44 命を守る対策の推進
		45 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進） （再掲）
		46 消防・救急・医療体制の強化
		47 災害からの迅速な復旧
		48 復旧・復興体制の強化

(2) 計画期間中の主な取組

- 中心市街地の活性化推進（イベント開催、公園のリニューアルなど）
- 仮設給水タンクの避難所への配置
- 消防指令システムを土佐市と共同で整備・運用
- 事前復興まちづくり計画策定作業の加速化
- 「高知市受援計画」の策定により外部支援（受援）を円滑な受け入れ体制の構築
- 住宅耐震化推進事業の拡充（助成上限額の引き上げ）、家具等手等防止対策事業の推進
- オーテピア西敷地の利活用策として「おまち多目的広場」を開設
- 中心市街地に公共無線 LAN 環境を整備
- 電車・バス通学定期券半額応援キャンペーンの実施
- タクシーアプリ「こちタク」の導入・運用開始
- 高知市地域公共交通リ・デザイン分科会で持続可能な地域公共交通の実現に向け県・沿線市町と将来の方向性を議論
- とさでん交通の経営安定化に向けて、県、南国市、土佐市、いの町と協調して支援を実施
- 松田みどり改良住宅 2 戸を子育て世帯向け住宅として改修、子育て世帯の入居要件を緩和
- 鏡中山市営住宅を地域活性化住宅として改修（令和 8 年度から供用開始予定）
- 土佐山高川地区に地域活性化住宅を新設（令和 9 年度から供用開始予定）
- 六泉寺町市営住宅等再編事業の推進
- マンホールトイレの整備

(3) 事業の評価指標から見る成果

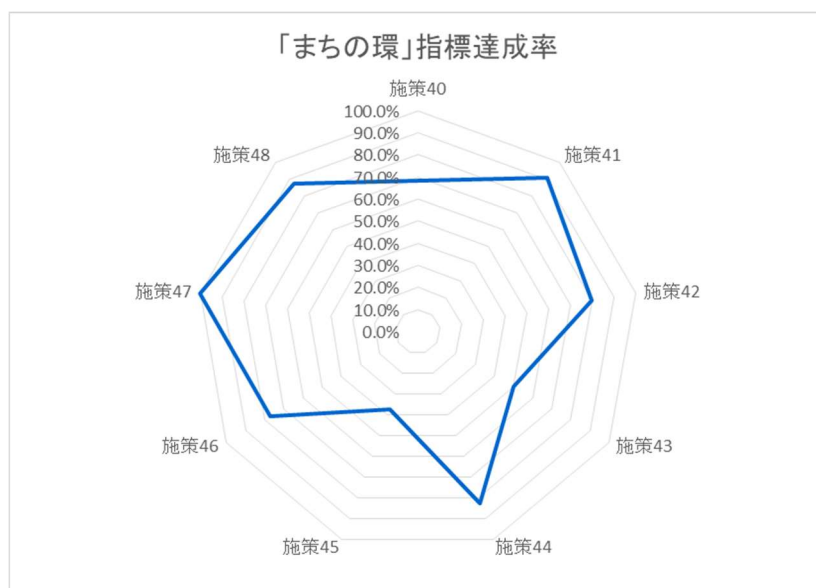
○まちの環に紐づく事務事業数：156

○事務事業に設定された評価指標数：232

上記のうち、令和6・7年度に評価実施済の指標：121、

令和8年度に評価実施予定の指標：111

施策	指標達成状況		合計	達成率
	達成	未達成		
40 地域特性を活かし、バランスの取れた都市の形成	15	7	22	68.2%
41 安全で円滑な交通体系の整備	20	2	22	90.9%
42 魅力あふれる都市美・水と緑の整備	8	2	10	80.0%
43 安全で安定した水道水の供給	1	1	2	50.0%
44 命を守る対策の推進	19	4	23	82.6%
45 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進）（再掲）	6	10	16	37.5%
46 消防・救急・医療体制の強化	10	3	13	76.9%
47 災害からの迅速な復旧	5	0	5	100.0%
48 復旧・復興体制の強化	7	1	8	87.5%



(4) 市民の実感の変化から見る成果（市民意識調査結果）

○令和２年度と比較し令和６年度の数値が 上昇または現状維持した施策：「↑」「→」
下降した施策：「↓」

大綱	施策	重要性			満足度		
		R2	R6	変化	R2	R6	変化
まちの環	40 地域特性を活かし、バランスの取れた都市の形成	5.86	5.97	↑	3.94	3.79	↓
	41 安全で円滑な交通体系の整備	6.09	6.38	↑	3.79	3.39	↓
	42 魅力あふれる都市美・水と緑の整備	5.67	5.65	↓	4.58	4.55	↓
	43 安全で安定した水道水の供給	6.65	6.96	↑	5.61	5.36	↓
	44 命を守る対策の推進	6.93	7.15	↑	4.89	4.51	↓
	45 地域防災力の向上（命をつなぐ対策の推進） （再掲）	6.75	6.96	↑	4.78	4.46	↓
	46 消防・救急・医療体制の強化	6.92	7.15	↑	5.10	4.70	↓
	47 災害からの迅速な復旧	6.87	7.16	↑	4.74	4.31	↓
	48 復旧・復興体制の強化	6.79	7.19	↑	4.54	4.28	↓

○重要性・満足度の変化を、以下の①～④に分類

① 重要性・満足度ともに上昇または現状維持	0 施策
② 重要性は下降、満足度は上昇または現状維持	0 施策
③ 重要性と満足度ともに下降	1 施策
④ 重要性は上昇または現状維持、満足度は下降	8 施策

○重要性・満足度がそれぞれ最も上昇したもの、最も下降したもの

重要性	最も上昇	施策 48 復旧・復興体制の強化	0.4 ポイント上昇
	最も下降	施策 42 魅力あふれる都市美・水と緑の整備	0.02 ポイント下降
満足度	最も上昇	なし	なし
	最も下降	施策 47 災害からの迅速な復旧	0.43 ポイント下降

(5) 「まちの環」の総括と次期計画に向けて

【成果と強み】

- 市民生活の根幹を支える都市インフラや防災機能の強化を目指し、道路網や上下水道施設の整備、公営住宅の適切な管理・提供などに重点的に取り組んだ。
- 上記に加え、中心市街地の活性化に向けた取組、公共交通の利用促進や将来的な公共交通のあり方の検討、交通安全、まちの景観整備等にも取り組んできた。

【課題】

- 「まちの環」全体として施策に対する市民の満足度が大きく下降傾向にある。
- 特に、「施策 47 災害からの迅速な復旧」は全施策の中で最も満足度が下降、また、「施策 41 安全で円滑な交通体系の整備」や「施策 46 消防・救急・医療体制の強化」もほぼ同程度に下降した。
- インフラ整備、地域の実情に応じた公共交通体系の構築、大規模災害発生直後の消防・救急・医療活動の体制強化等を図ってきたが、これらの進捗が市民の安心感や満足度に十分に結びついていないのではないか。

【次期計画での対応の方向性】

インフラ整備は中長期的な視点が必要であり、継続的に取り組む必要があるため、今後も引き続き着実に整備を進める。

令和 6 年には南海トラフ地震臨時情報が発表されたこともあり、南海トラフ地震発生への危機感や防災意識が市民の中でより高まっている。市民がより安全を実感できるようインフラの長寿命化や耐震化といったハード整備を継続しつつ、発災後の迅速な復旧・復興を可能とするための復興の事前対策の必要性を浸透させるとともに、住民同士、行政・住民・関係機関が連携して地域防災力を高める。

6 自立の環

(1) 分野の概要と政策・施策名

地方中核都市として、周辺自治体との広域連携や交流を推進し、県域全体の共生と発展をリードするとともに、財政の健全化と、効率的で信頼される行政の仕組みづくりを継続しつつ、市民ニーズに的確に対応したサービスを提供する。

また、地域コミュニティの再構築を通じて、住民がそれぞれの地域の実情に合ったまちづくりに主体的に取り組める環境を整えることで、持続的に発展する地域を形成する。

(主な取組分野：交流・連携、移住・定住、行財政運営)

大綱	政策	施策
自立の環	14 多様な交流や、新たな人の流れが生まれ、自立したまち	49 多様な交流・連携の推進
		50 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化（再掲）
		51 NPO・ボランティア活動の推進（再掲）
		52 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進
		53 市民から信頼される行政改革・財政の健全化
		54 持続可能な公共施設の提供

(2) 計画期間中の主な取組

- UI 孫ターン支援事業の創設
- 「こうちみませ楽舎」開校で地域活性化に取り組む人財の発掘・育成
- 長浜・御豊瀬・浦戸地域の活性化のため、地域おこし協力隊を受け入れ
- 結婚新生活支援事業の創設
- 行政手続のオンライン化推進
- ネーミングライツパートナー募集開始
- ふるさと納税推進支援業務（中間委託業務）を開始
- 書かないワンストップ窓口の推進
- ホームページリニューアル事業の開始
- 公共施設の LED 化

(3) 事業の評価指標から見る成果

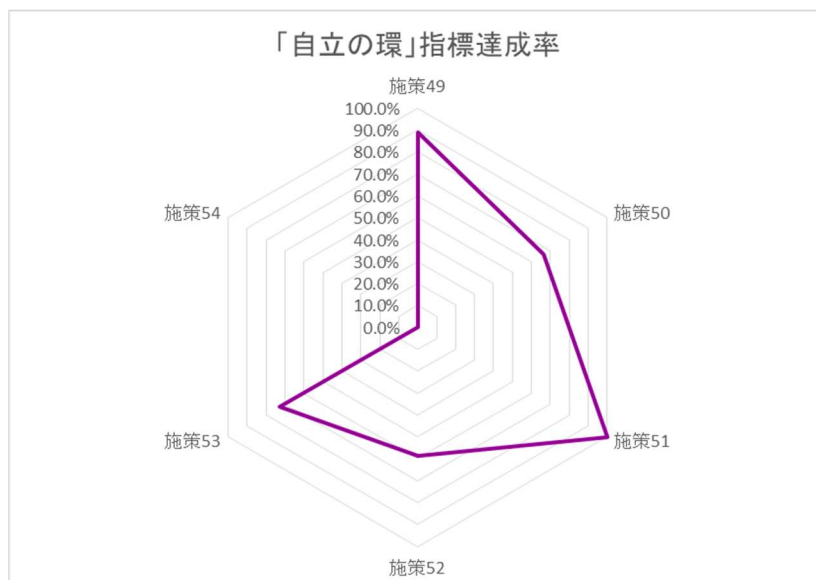
○自立の環に紐づく事務事業数：43

○事務事業に設定された評価指標数：78

上記のうち、令和6・7年度に評価実施済の指標：49、

令和8年度に評価実施予定の指標：29

施策	指標達成状況		合計	達成率
	達成	未達成		
49 多様な交流・連携の推進	8	1	9	88.9%
50 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化（再掲）	6	3	9	66.7%
51 NPO・ボランティア活動の推進（再掲）	2	0	2	100.0%
52 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進	10	7	17	58.8%
53 市民から信頼される行政改革・財政の健全化	8	3	11	72.7%
54 持続可能な公共施設の提供	0	1	1	0.0%



(4) 市民の実感の変化から見る成果（市民意識調査結果）

○令和2年度と比較し令和6年度の数値が 上昇または現状維持した施策：「↑」「→」
下降した施策：「↓」

大綱	施策	重要性			満足度		
		R2	R6	変化	R2	R6	変化
自立の環	49 多様な交流・連携の推進	5.42	5.03	↓	4.53	4.29	↓
	50 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化（再掲）	5.61	5.70	↑	4.39	4.41	↑
	51 NPO・ボランティア活動の推進（再掲）	5.10	5.28	↑	4.35	4.35	→
	52 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進	5.79	5.76	↓	4.40	4.26	↓
	53 市民から信頼される行政改革・財政の健全化	6.29	6.36	↑	4.02	4.04	↑
	54 持続可能な公共施設の提供	5.86	6.04	↑	4.48	4.35	↓

○重要性・満足度の変化を、以下の①～④に分類

① 重要性・満足度ともに上昇または現状維持	3 施策
② 重要性は下降、満足度は上昇または現状維持	0 施策
③ 重要性と満足度ともに下降	2 施策
④ 重要性は上昇または現状維持、満足度は下降	1 施策

○重要性・満足度がそれぞれ最も上昇したもの、最も下降したもの

重要性	最も上昇	施策 51 NPO・ボランティア活動の推進（再掲）	0.18 ポイント上昇
	最も下降	施策 49 多様な交流・連携の推進	0.39 ポイント下降
満足度	最も上昇	施策 50 地域の絆を強める地域コミュニティの活性化（再掲） 施策 53 市民から信頼される行政改革・財政の健全化	0.02 ポイント上昇
	最も下降	施策 49 多様な交流・連携の推進	0.24 ポイント下降

(5) 「自立の環」の総括と次期計画に向けて

【成果と強み】

- 行政評価の適切な実施、適正な定員管理、収支見通しに基づく収支改善策の着実な実施などの行財政運営に取り組み、「施策 53 市民から信頼される行政改革・財政の健全化」の市民の満足度は上昇した。

【課題】

- 「施策 49 多様な交流・連携の推進」では、行政間や大学、企業等との連携・協力、姉妹・友好都市との交流など、「施策 52 新しい人の流れを生み出す移住・定住の促進」では、移住・定住情報の発信や UI 孫ターン支援事業の創設による受入体制の強化等を図ってきたが、市民の満足度は下降した。

【次期計画での対応の方向性】

これまで進めてきた多様な主体との連携を引き続き強化し、大学が有する知的資源や民間企業等の技術や知見など、行政にはない優れた知恵や深い知識を活用しながら、地域経済の発展を図る。

今後地方にとって重要な存在となる外国人や、移住者を含めたすべての人々が共生する暮らしやすい環境をつくり、誰もが「住み続けたいまち」を目指す。

また、市役所が持続可能な組織となるため、地域のニーズを踏まえながら強固な行財政運営を継続する。

7 6つの環のまとめ

大綱	次期計画での対応の方向性
共生の環	<p>環境保護や、人権尊重、男女の活躍等についての市民の意識醸成など、持続可能な社会の基礎づくりは継続して今後も実施する必要がある。</p> <p>また、人口減少により、これまで通りの地域活動を維持することが困難になる中で、日常的にも、災害時等の非常時にも住民同士の支え合いは非常に重要性を増す。地域での課題解決力を強化するとともに、相談体制や交流の機会の創出といった行政の支援を拡充し、引き続き地域共生社会の実現を目指す。</p>
安心の環	<p>市民が真に必要なとしている福祉的ニーズを再検証し、行き届いていない部分はないかを見極めながら今後の施策を考えていく必要がある。また、少子高齢化の進行に伴って若い世代への負担が偏らないよう、持続可能な福祉の支援体制を構築していく必要がある。</p>
育みの環	<p>これからの人口減少の時代には、子育てや教育など、子どもや若い世代に関連する施策に対する市民の重要性の認識が高まっている。今後も、子どもや若い世代を中心とした施策を検討すると同時に、人生の大事なライフステージを迎えるどの世代の人にとっても暮らしやすい環境や支援を整備することが、本市への定住意向を向上させ、人口の流出を防ぐ人口減少対策につながる。</p> <p>満足度の高い文化・芸術施策を発展させ、生涯学習やスポーツを含めて、生涯を通してできる活動の機会を拡大し、心の豊かさや生活の質の向上につなげるとともに、地域への愛着を生む。</p>
地産の環	<p>地域産業の発展に対して市民の重要性の認識が増している。</p> <p>地域産業が発展し、地域経済が活性化することが、まちの発展に直結する。担い手の確保・育成に向けた支援や販路拡大など、地元企業や事業者の事業が次世代へ永続的に継承される仕組みづくりを推進し、市民が地域の発展を実感できる施策の展開が必要である。</p>
まちの環	<p>インフラ整備は中長期的な視点が必要であり、継続的に取り組む必要があるため、今後も引き続き着実に整備を進める。</p> <p>令和6年には南海トラフ地震臨時情報が発表されたこともあり、南海トラフ地震発生への危機感や防災意識が市民の中でより高まっている。市民がより安全を実感できるようインフラの長寿命化や耐震化といったハード整備を継続しつつ、発災後の迅速な復旧・復興を可能とするための復興の事前対策の必要性を浸透させるとともに、住民同士、行政・住民・関係機関が連携して地域防災力を高める。</p>
自立の環	<p>これまで進めてきた多様な主体との連携を引き続き強化し、大学が有する知的資源や民間企業等の技術や知見など、行政にはない優れた知恵や深い知識を活用しながら、地域経済の発展を図る。</p> <p>今後地方にとって重要な存在となる外国人や、移住者を含めたすべての人々が共生する暮らしやすい環境をつくり、誰もが「住み続けたいまち」を目指す。</p> <p>また、市役所が持続可能な組織となるため、地域のニーズを踏まえながら強固な行財政運営を継続する。</p>

5 次期総合計画に向けて

新規事業の創設や既存事業の拡充など、様々な取組を行ったものの、市民の満足度が下降した施策があり、その中には市民の重要性の認識が高まっている施策もありました。

新たな総合計画の策定にあたっては、市民ニーズを踏まえた施策の立案を強化し、市民の満足度の上昇に結び付く施策展開を図る必要があります。

新たな総合計画では、施策の目標達成状況が市民の満足度と連動するよう施策成果の維持向上を図るとともに、施策の達成状況を適切に測るための成果指標の検討、施策の達成に結び付くような事業内容及び事業の実効性を向上させるための評価指標の検討、市民意識調査結果等を踏まえた目標値の設定を行うことで、政策・施策・事務事業の各段階における評価の的確性を高め、PDCAサイクルのさらなる強化を図ります。

さらに、目まぐるしく変化する社会情勢や市民のニーズにこれまで以上に柔軟かつ適時・的確に対応するため、機動性を高めた総合計画を策定し、市民が成果を実感できる市政の実現へつなげます。